

言葉の壁はある。

でも、乗り越えられる

1号線池上店(東京都)

クルー

タマンスザンさん(写真右)

ネパール出身。日本のアニメに興味を持つたことを機に、2024年の春に語学留学で日本へ。語学学校の先輩の勧めもありマクドナルドで働くことを決めた。粘り強さや向上心を強みに努力を重ね、現在ではピークの時間帯も安心して任せられる厨房に欠かせない存在。

1号線池上店(東京都)

トレーナー

ラヤマジニスチャルさん(写真左)

ネパール出身。スザンさんは語学学校の同級生で、ともにマクドナルドで働きはじめた。誰とでもすぐ打ち解ける明るく優しい性格が強みであり、トレーナーとして外国人クルーを中心にトレーニングを行っている。マネージャーを目指し、カウンター業務にも挑戦中。

勇気を出して

「働かせてください！」2024年の春、早朝の1号線池上店にスザンさんとニスチャルさんは突然やって来た。日本文化に興味を持ち、語学を学ぶために日本へ留学した2人。「マクドナルドで働けば日本語が上達する」と語学学校の先輩に勧められ、勇気を振り絞って直接店舗を訪ねたのだった。当時はほとんど日本語が話せなかつたが、面接では持ち前の笑顔と翻訳アプリで働きたい想いを伝え、無事厨房で働くことに。しかし、うれしい反面心のどこかで、仕事ができるのか、店舗に馴染めるのか、不安も感じていた。

コミュニケーションはジェスチャーや簡単な単語を組み合わせ、仕事はトレーニングツール[※]の活用や仲間の働く姿を目で見て覚えた。もちろん簡単ではなかつたが、仕事を一つ覚えるたび仲間が褒めてくれるので、楽しいと感じることが多かつたという。「すごい」「できたね！」と言われるたびに次へ次へと挑戦し続け、気づけば不安な気持ちは吹き飛んでいた。そして、店舗の仲間とも気軽に声をかけ合えるくらいの距離が近くなっていた。

厨房から笑顔を

前向きな姿勢は語学力向上にも効果を發揮し、今ではシフト中は仲間と日本語でコミュニケーションが取れるスザンさんとニスチャルさん。クルーとしても大きく成長し、店舗運営を厨房から支えている。

スザンさんは、数あるポジションの中でも特にポテトパーソンが得意。その優秀さは店舗の誰もが認めるほどだ。目にも止まらぬ早さで美しくポテトをバギングできるのは、憧れの先輩の仕事をよく観察し、一つひとつポイントを教わりながら一生懸命練習し続けた賜物だ。ねばり強さと向上心を生かし「もっと早くきれいに」を合言葉にさらなるスキルアップを目指し続けている。

ニスチャルさんは、言葉の壁がある大変さを知っているからこそ、いろいろな国の仲間たちの支えになるためにトレーナーになりたいと手を挙げた。英語も活用しつつ、トレーニングはもちろん、慣れない環境への不安を取り除くコミュニケーションを心がけている。気さくな性格も相まって、今ではみんなに慕われる存在。次は店舗全体にポジティブな影響を与えるマネージャーになることが目標だ。

1号線池上店のみんなに愛されているスザンさんとニスチャルさん。これからも「違い」をともに乗り越えて仲間と一緒に1号線池上店をより良い場所へ成長させていく。

ランチピークでも活躍する秘訣

抱え込まずに仲間と協力！

どんな時にも大切なのは「笑顔」！

お客様に笑顔を届けようとの第一歩は、クルー自身が笑顔にこだわること。忙しくても、疲れていても、笑顔を忘れない、こだわることで、自分自身も前向きにみんなで乗り越えることができます。

挑戦を積み重ねて自信に！

ランチピークの雰囲気やスピード感に慣れることができれば、自然と活躍できるようになります。「まだ自分には早い」と消極的にならず、何度も挑戦することが重要です。うまくいかなくて大丈夫！仲間が支えてくれますよ。

全力投球でスキルアップ！

何ごとも事前準備や練習は大切。次のピークまでに自分が何ができるようになりたいか小さな目標を設定し、ピーク以外の時間帯でスキルアップに取り組んでいます。

笑顔を届けよう！

© McDonald's